

IRF サミット 2025：米副大統領が宗教の自由の拡大を宣言

要点

- 第5回 IRF サミットが2025年2月4～5日にワシントン DC で開催、1,000 人超が参加
- バンス副大統領が IRF サミット史上最高位の米政府登壇者に
- 「宗教の自由はトランプ政権の重要課題」と宣言

第5回国際宗教自由（IRF）サミットが2025年2月4～5日、ワシントン DC で開催された。90以上の協力団体が参加し、来場者は1,000人を超えた（IRF Summit 公式、2025年）。

バンス副大統領の演説

J.D.バンス副大統領が2月5日に演説し、IRF サミット史上最高位の米政府登壇者となった。「宗教の自由は国内外で生きた現実として守られるべきだ」と述べ、トランプ政権の重要政策に位置づけると宣言した。

主要登壇者

アルメニアのパシニャン首相やソアレス長老（末日聖徒イエス・キリスト教会）らも登壇し、中国・中東・アフリカでの信教の自由が議論された。